



第8回学術コミュニケーションセミナー（月刊JPCOAR）

APCの案内方法 （事例報告）

慶應義塾大学三田メディアセンターレファレンス担当
吉井由希子

オープンアクセス論文を探す・公開する > 論文掲載料(APC)の補助・免除・割引



慶應義塾大学 メディアセンター

Keio University Research NAVI

慶應義塾大学リサーチナビ

[Keio University Libraries](#) / [Research NAVI](#) / [キャンパス共通ガイド](#) / [オープンアクセス論文を探す・公開する](#) / [論文掲載料\(APC\)の補助・免除・割引](#)

オープンアクセス論文を探す・公開する

Search this Group

検索

はじめに

オープンアクセスって何？

なぜ必要？

ハゲタカジャーナル/出版社/学会に注意

探す

公開する

論文掲載料(APC)の補助・免除・割引

[大学による助成 / University Aid in Payment of Article Processing Charges \(APCs\)](#)

[機関購読契約による全額免除・割引情報](#)

大学による助成 / University Aid in Payment of Article Processing Charges (APCs)

慶應義塾の研究者向け国際学術論文掲載料補助制度 / Aid in Payment of Article Processing Charges(APCs) for International Academic Journals

・ [国際学術論文掲載料補助制度](#)（研究連携推進本部）（要慶應ID）

Keio ID will be required to access. [In Japanese only].

機関購読契約による全額免除・割引情報 / Exemptions and Discounts for Article Processing Charges (APCs) Based on Institutional Subscription

本学で機関購読契約をしていることにより、慶應義塾大学所属の著者は、オープンアクセス化のための論文掲載料（Article Processing Charge：APC）の全額免除や割引を受けられる場合があります。割引の適用についてメディアセンターで取りまとめは行いませんので、詳細は以下の各ジャーナルのWebサイトでご確認ください。

※メディアセンターで把握している免除・割引制度は下記のみとなります。本リストにない場合は、塾内の他の助成制度等をご検討ください。また、個人会員向け割引制度のある学会も多数あります。詳細は各学会のWebサイトでご確認ください(2020.4.6追記)。

本日の報告内容

- APCの案内Webサイトについて
 - ✓Webサイト紹介
 - ✓目的
 - ✓作成までの経緯
- Webサイト以外の広報手段
- Webサイトの活用状況
- 課題と今後に向けて

慶應義塾大学リサーチナビ

- LibGuidesを利用して各種ガイドを作成



慶應義塾大学 メディアセンター

Keio University Research NAVI

慶應義塾大学リサーチナビ

[Keio University Libraries](#) / [Research NAVI](#) / [キャンパス共通ガイド](#) / [ガイドを探す](#) / [Home](#)

ガイドを探す: Home

メディアセンターが作成したガイドを目的や分野など様々な切り口から探せます。



[🔗 Guides in English](#)



探し方の基本

新入生の皆さんへ：メディアセンターの
使い方



資料タイプ別に探す

新聞記事を探す
雑誌論文を探す



テーマ別に探す

慶應義塾・福澤諭吉について調べる
就職活動に役立つ情報を探す



データベースの使い方

電子ジャーナル・電子ブックを使う
国立国会図書館デジタルコレクション

オープンアクセス論文を探す・公開する > 論文掲載料(APC)の補助・免除・割引



Keio University Research NAVI

慶應義塾大学リサーチナビ

[Keio University Libraries](#) / [Research NAVI](#) / [キャンパス共通ガイド](#) / [オープンアクセス論文を探す・公開する](#) / [論文掲載料\(APC\)の補助・免除・割引](#)

オープンアクセス論文を探す・公開する

Search this Group

検索

はじめに

オープンアクセスって何？

なぜ必要？

ハゲタカジャーナル/出版社/学会に注意

探す

公開する

論文掲載料(APC)の補助・免除・割引

[大学による助成 / University Aid in Payment of Article Processing Charges \(APCs\)](#)

大学による助成 / University Aid in Payment of Article Processing Charges (APCs)

慶應義塾の研究者向け国際学術論文掲載料補助制度 / Aid in Payment of Article Processing Charges(APCs) for International Academic Journals

・ [国際学術論文掲載料補助制度](#)（研究連携推進本部）（要慶應ID）

Keio ID will be required to access. [In Japanese only].

機関購読契約による全額免除・割引情報 / Exemptions and Discounts for Article Processing Charges (APCs) Based on Institutional Subscription

本学で機関購読契約をしていることにより、慶應義塾大学所属の著者は、オープンアクセス化のための論文掲載料（Article Processing Charge：APC）の全額免除や割引を受けられる場合があります。割引の適用についてメディアセンターで取りまとめは行いませんので、詳細は以下の各ジャーナルのWebサイトでご確認ください。

※メディアセンターで把握している免除・割引制度は下記のみとなります。本リストにない場合は、塾内の他の助成制度等をご検討ください。また、個人会員向け割引制度のある学会も多数あります。詳細は各学会のWebサイトでご確認ください(2020.4.6追記)。

オープンアクセス・論文を公開する

オープンアクセスって何？
なぜ必要？
ハゲタカジャーナル/出版社/学会 に注意
探す
公開する
論文掲載料(APC)の補助・免除・ 割引
ORCIDの登録

2018～
段階的に
公開

2019公開

2020公開

2020統合

「論文掲載料(APC)の補助・免除・割引」 作成の目的

APCの補助・免除・割引に関する情報の一本化

- ✓全キャンパスで利用できる＝広く広報できる
- ✓利用者や他部署からの問い合わせに対応できる
- ✓スタッフの確認用としても活用できる
- ✓他部署との連携

- キャンパスごとに行っていたAPC案内をまとめて2019年に一本化。
- 2020年に他のメニューも統合し、現在のサイト「オープンアクセス・論文を公開する」の形へ。

「論文掲載料(APC)の補助・免除・割引」 作成までの経緯 (本学メディアセンターにおけるAPCの案内)

- 2013 RSCバウチャー発行プログラム (理工)
- 2013-2016 Springer(2013-2016.5), AAAS(2015-), ACS(2016-)
- **2019 APCの補助・免除に関する情報を一本化**
- **2020 CUP Read&Publish契約**
 - 他のメニューも統合して現在のサイトの形へ
 - Webサイト以外の手段も用いて広く広報
- **2022 Elsevier購読+Gold OA契約**

その他の広報手段

- Webサイト（ニュース、バナー）
- ポスター（日・英）
- 関係者へのメール
- 学内サイト(keio.jp)にて対象者へのお知らせ表示



慶應義塾大学
メディアセンター

メディアセンターTOP > お知らせ・イベント記事一覧

共通

論文のオープンアクセス化料金(APC)の補助/免除について(Elsevier社追加)

慶應義塾大学に所属する著者に対し、論文のオープンアクセス化料金(APC)の補助や全額免除が適用されるタイトルが出版社ごとに条件が異なります。詳細は下記をご覧ください。

<https://libguides.lib.keio.ac.jp/oa/apc>

【NEW】アの度、Elsevier社が追加されました(2022年4月~2023年3月)

Elsevier社発行誌
投稿論文のオープンアクセス化費用(APC)が
割引されます！

Elsevier社発行の
Cambridge University Press社発行誌
オープンアクセス論文の掲載料(APC)が
免除されます

new 対象の論文タイプが追加されました(2021年1月~)

以下の全てに該当する場合、論文掲載料(APC)が免除されます。

➡手続き方法は裏面をご確認ください。

要件1



慶應義塾大学所属者が責任著者
(Corresponding Author)である

要件2



投稿先がCambridge University Press社
発行のオープンアクセス誌(「Gold OA」もしくは
「Hybrid OA」)

<対象誌リスト> (要慶應ID)
<https://bit.do/keio-cup-oa-Journals>



要件3



要件4



ール



ンアクセス

onding

31日の間

覧下さい。



方法は裏面にあります。

「オープンアクセス・論文を公開する」 作成の効果：利用者

- 利用者の目に触れる機会が増えた？
- 利用者からは高評価。
- OA関係の情報を一本化することで、これまで馴染みのなかった利用者にも情報が伝わることを期待。

「オープンアクセス・論文を公開する」 作成の効果：スタッフ

- 情報が一本化され、利用者への案内が楽になった。
- 他部署との連携がしやすくなった。
- メンテナンスが楽になった。
- ブラッシュアップしやすい（皆が見るため）。
- スタッフの確認ツールとしても活用。

課題と今後に向けて

- 他部署との連携
- OAやAPCに関する情報（動向）の共有
 - ✓情報を届けるべき人に、必要な情報を漏れなく提供できるような広報
 - ✓案内Webサイトの可視性、認知度